

小学生

12月の作文課題

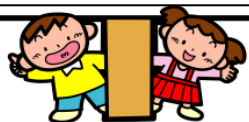
課題①～④から自由に選んで作文を書きましょう。(400字以内)

★今月のねらい★

- ◆年末のすごしかた
- ◆ことばと動作を考える

作文のしめきり日は、**12月**日です!

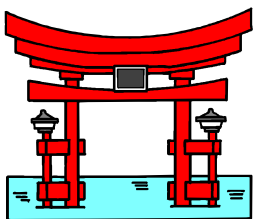
しめきりをすぎても添削はできますから、決してあきらめずに提出してくださいね。



日本作文指導センター発行 (2012)

① 「歳の市」

十二月に入ると、一気に町は年末モードになります。全国でもお寺や神社に、しめなわや門松をはじめとしたいろんなお正月用品を売る店が立ちます。浅草の「羽子板市」を知っていますか。むかしは、人気役者の似顔絵をかいた羽子板がよく売れたようです。また、世田谷の「ポロ市」や京都の「弘法さん」や「天神さん」も、有名です。行ったことや、見たことがありますか。お正月が近い町のようにすについて、書いてみましょう。



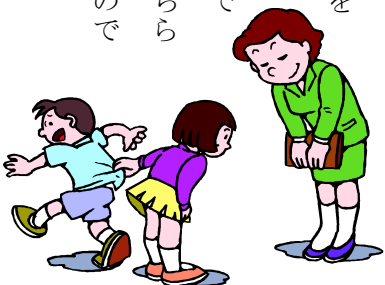
③ 「大晦日、小晦日」

十二月三十日は小晦日(こつこもり)、三十一日は大晦日(おおつこもり)という言い方があるそうです。「つこもり」とは、月がかくれる「月ごもり」のことです。さてみなさんは、三十一日は何時までおきていられるでしょうか。うっかりねると、よけいに年をとるといふ言いつたえもありますよ。でも、百人の鐘の音は、遠くからゴーンゴーンとひびき、ねむ気をさそいますね。みなさんのなやみは、百人つもありますか。年末のすごしかたを、考えてみましょう。



② 「おじぎとあく手」

みなさんは、あく手をしたことがありますか。日本人は、会うときも、わかれるときも、おじぎをします。「ありがとう」を言います。「すみませんでした。」も、頭をさげておじぎをしながら言います。じつは、中国やタイでも、あいさつはおじぎが多いです。アメリカやヨーロッパでは、あく手をしたり肩をたたいたりして、体をふれ合います。なぜこんなにもちがうのでしょうか。あく手をする時は、どちらから先に手を出すのが、正しいのでしょうか。



④ 中学受験用

アメリカシカゴ大学の研究チームが、試験の直前に不安な気持ちを書き留めるだけで重圧に負けず本来の実力が発揮できることを発表しました。(昨年一月)「試験前の作文には、過去のつらい体験を文章にして心の傷をいやす心理療法と似た効果がある」と実験研究データを発表しています。そこで今回は、試験前の不安な気持ちを作文にしてください。題は自由です。

(四〇〇字)